# くみあいNEWS

第　１５４００　号
2025年10月24日(金)
発　行　責　任　者
日本製鉄和歌山労働組合
組　織　教　宣　部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ　　組合 LINE

代表内線番号　和歌山地区(本部)　543590
堺地区　652990 ／海南地区　545555


# 日本製鉄和歌山労働組合
# 第13回定期大会を開催

和歌山労働組合は、10月10日(金)に第13回定期大会を開催し、88名が代議員として出席をしました。

山川、松村両議長のスムーズな進行により大会は進められ、第１号議案「第55期運動方針に関する件(案)」に対しては、製鋼支部、鋼片支部、小径製管支部、圧延整備支部、青年女性部より補強意見が出されました。第１号議案をはじめ、第２号議案「2026年度会計予算に関する件(案)」ともに満場一致により可決・決定されました。


松村議長


山川議長


ガンバロー三唱

## 本大会にお越しいただきましたご来賓の方々をご紹介します。


日本製鉄労働組合連合会
会長　幸野　直通氏


連合和歌山
(和歌山労組特別執行委員)
会長　山本　龍一氏


和歌山市議会議員
(組織内議員)
清末　博善氏


こくみん共済 coop 和歌山推進本部
(和歌山労組顧問)
本部長　池田　祐輔氏

●基幹労連　事務局次長（和歌山労組特別執行委員）　黒島　巌氏
●和歌山県議会議員　浦口　高典氏
●近畿労働金庫　和歌山支店　支店長　安井　史幸氏

# 第13回定期大会 組合長挨拶



中濱組合長

大会代議員の皆様、ご安全に。

和歌山労組「第13回定期大会」へのご対応、大変お疲れ様です。

まずもって、組合員の皆様におかれましては、日頃より和歌山労組の諸活動に対し多大なるご理解・ご協力を頂き、心より感謝を申し上げます。

また、職場においても、安全・環境・防災を最優先に、日々の安定操業にご尽力を頂いている点につきましても、重ねてお礼を申し上げる次第であります。

そして、本日の定期大会には、公私とも大変ご多用中にもかかわらず、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜っております。後ほど議長から丁重にご紹介を頂き、ご祝辞も頂戴しますので、わたくしからのご紹介は割愛させて頂きますが、本大会に華を添えて頂きましたことに、和歌山労組を代表して衷心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

さて、和歌山労組の第55期は、９月より執行部７名体制でスタートし、全23支部との連携をより一層強固なものとし、「組合員とご家族の幸せを追求する」という大義を果たすべく、山積する諸課題の解決に向けて全力で取り組んで参る所存であります。

後ほど、第55期の運動の基本スタンスや、前半年度の活動内容についてご審議を頂きますが、これまで、先達の皆様が鉄鋼労働運動の精神に則り、築き上げてこられた活動と、その主軸は全くもって変わりはございませんので、私からは、今期の活動において改めて組合員の皆様と認識を共有すべきことを、３点に絞り申し上げたいと思います。

まず１点目は、労働組合の最優先課題である「安全と健康の確保」についてであります。

本年においても、基幹労連、日本製鉄労連加盟組織では、死亡災害が発生しており、依然として重篤な災害は撲滅できておらず、関西製鉄所和歌山地区においても、４月に統計外の死亡災害が発生しています。

今年は、幸いにも構内で休業災害は発生していないものの、行動面による不休災害が後を絶たず、危機的な状況が続いていると言わざるを得ません。

近年は、機械安全が進み、「安全６則」が直・協で浸透し、重篤な災害が減少する一方で、不注意やルールを守れずにケガをする事例が増えています。

まずは、ソフト面に起因する災害を撲滅するべく、「規律ある職場と安全に強い人づくり」が急務であり、労働組合として、各支部のご協力のもと、現場第一線への啓発活動を強化すると共に、組合員との積極的な対話により、安全意識･行動の実態を把握し、会社への提言を行う等、「誰もが安全に安心して働ける製鉄所」の実現に向け、労使一体となった安全活動を展開して参ります。

２点目は「経営対策の強化」についてであります。

我々鉄鋼産業を取り巻く環境は、国内外の需要の低迷に加え、中国経済の減速による過剰生産と輸出増加の影響を受け、世界の鋼材マーケットが下落するなど、非常に厳しい状況が続く中、トランプ政権の関税政策により、国内外の鉄鋼産業は甚大な影響を受け、かつてない危機的な状況に直面しています。

日本製鉄は、鉄鋼産業での生き残りをかけ、将来のさらなる成長に向けて、USスチールとのパートナーシップをはじめとするグローバル展開を加速し、加えて、社の中核事業である国内製鉄事業の重要性は増々高まっており、各箇所においては、安定生産はもとより、さらなる生産性向上に取り組むなど、より一層の役割発揮が求められているところであります。

このような中、関西製鉄所和歌山地区においては、2024年度末に第４コークス炉が休止され、現中長期経営計画での、上工程設備の構造対策を終え、日々の安定操業とコスト改善に取り組んでいただいております。

そして、2025年度末に海南小径製管工場西ミル、2026年度末には薄板ラインの設備休止を控え、さらに2027年度末には、この４月に直営化された電縫鋼管工場の８インチミルの休止が予定されています。

今後は、年内発表予定の「次期中長期経営計画」をはじめ、様々な経営諸施策に対し、組合員の雇用と生活の安心・安定を第一義に、日本製鉄労連との連携のもと、会社に対し、しっかりと意見提言を行って参ります。

いずれにしましても、鉄鋼産業が新たなステージを迎えている今、国内製鉄事業の一層の競争力強化に向けて、操業実力の着実な向上や、業務刷新・効率化の推進など、経営基盤の強化に対し是々非々で協力し、そのことが組合員の働く場、すなわち雇用の確保に直結するということをご理解頂き、職場労使が一丸となって、関西製鉄所、会社の発展に大きく寄与していくことをお願いする次第であります。

そして３点目は、政策実現活動についてであります。

７月に行われた、第27回参議院議員選挙では、JAMとの共闘のもと、約２年間に亘りご支援をいただいた結果､「郡山りょう」氏を国政の場に送り出すことが出来ました。組合員の皆様には、過去最高となる、5,500枚もの投票済み証明書を集めていただく等、絶大なるご理解・ご協力を賜り、あらためて感謝を申し上げる次第であります。しかしながら、郡山りょう氏の得票数は、前回の「村田きょうこ」氏の得票数を大きく下回ったことを、今後の課題として真摯に受け止めなければなりません。

そして、いよいよ「村田きょうこ」参議院議員の２回目の選挙まで、３年を切りました。初当選以来、１年生議員とは思えない活躍で、我々ものづくり産業、そしてすべての働く人のための政策制度の提言・改善に日夜奮闘してくれています。この事をしっかりと、現場の第一線そして若年層まで伝えなければ、今回のような結果になってしまいます。

まずは、統一地方選挙で、我々の組織内・推薦議員を必ず議会の場に送り出し、次回の参議院選挙では、どんな風が吹こうとも、「村田きょうこ」がどこの政党であっても、必ず当選させるという気概を持ち、支部役員の皆様が先頭に立って、理解・浸透活動に取り組んでいただく事を切にお願いする次第であります。

その他にも今期の課題として、AP26春季取り組みについては、AP24・25において、単年度取り組みを行った結果、金属産業トップクラスとなった賃金水準の維持･向上はもちろんの事､「総合改善年度」として、「魅力ある労働諸条件づくり」に向け、議論を進めて参りますので、職場組合員の皆様には支部会議や討論集会への、積極的な参画と意見提起をお願いいたします。

また、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けては、職場実態や課題等も踏まえた改善・解決に向けて対応を図って参りますが、とりわけ、交替勤務の皆さんが、活き活きと働き続けられるべく「交替勤務における欠補対応」への取り組みついては、先般の試行結果も踏まえ、引き続き、日本製鉄労連と現場の実態を共有しながら、実現に向けて取り組んで参ります。

いずれにしましても、和歌山労組は日本製鉄労連傘下の単組として、連合会との連携を図りながら、職場の安全確保、経営基盤の強化、ワーク・ライフ・バランスの実現等を中心とした職場のさらなる健全性に努めるとともに、連合和歌山を中心とする地域団体での役割発揮、推薦議員との緊密な連携、福祉事業団体への積極的な関わりなど、労働組合の存在意義を示すべく与えられた役割と責任を果たしていく所存であります。

結びとして、和歌山労組第55期におきましては、働く仲間の誰もが「日鉄でよかった」と実感できるよう、日本製鉄労連が掲げる「労働政策ビジョン」の実現に向け粘り強い取り組みを展開して参りますので、組合員の皆様におかれましては、それぞれの持ち場・立場において、日々ご尽力を頂くとともに、組合活動に対する絶大なるご理解とご協力を賜ります様、心からお願いを申し上げ、第13回定期大会開会にあたってのご挨拶に代えさせて頂きます。

ご安全に。

# 第1号議案「第55期運動方針に関する件（案）」に対する補強意見及び執行部答弁（要旨）



製鋼支部
岸本　光功　代議員



鋼片支部
梅本　佳城　代議員



小径製管支部
田中　涼　代議員



圧延整備支部
得津　兼一　代議員



エネルギー支部
吉田　旭洋　代議員

## ◆安全で健康な職場環境の確立

- 製鋼支部では約６年間の無災害を継続中ですが、軽処置災害等は依然として発生しています。そのため、不安全箇所の撲滅と安全意識向上に向けた取り組みを進めています。執行部におかれましては、安全巡視や組合員との対話を通じて個々人の安全感度向上に繋がる安全啓発活動の展開をお願いいたします。
- 小径製管支部では、他工場の災害を教訓に直協一丸で安全活動を推進し、現場主導の「実践できる」取り組みを展開しています。執行部におかれましては、すべての仲間が安心・安全に働けるよう、支部との連携と現場実態の把握・フォローをお願いいたします。あわせて、ハラスメントやメンタル疾患への早期対応に向けた支部との連携強化もお願いいたします。

## ◆雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化

- 小径製管西工場の休止を控えており、組合員の雇用や生活への不安が高まっています。休止を控えている支部として、対話と意見集約を通じて職場労使委員会で提言し、不安解消に努めています。執行部には、人員措置や環境変化への適正な対応と支援を、また若年層への情報発信として公式LINEの積極的な更新をお願いいたします。
- 2020年中長期経営計画の施策は、現場組合員に大きな衝撃を与えましたが、執行部の丁寧な対応により、安心して業務に取り組むことができました。次期計画でも困難が予想される中、執行部には各支部と引き続き連携し、生活の安定と安心して働ける環境づくりに向け、全力かつ丁寧な対応をお願いいたします。

## ◆魅力ある労働所条件の確立と総合的な生活の改善

- 鋼片工場では、計画休止を活用し欠補対応の抑制や年休取得の推進など、ワークライフバランスの実現に向けた取り組みが進められています。一方で、育児・介護による長期休業時の人員対応や、今後増産した際の休暇取得への不安も残っています。執行部におかれましては、このような課題・問題を会社に意見し、誰もが安心して働ける制度・環境整備に取り組んでいただきますようお願いいたします。
- AP24・AP25での賃金改善により、世界トップ水準の処遇を実感しており、AP26でもその水準維持に向けた取り組みをお願いいたします。ワークライフバランスにおいては、業務効率化や意識改革により年休取得率は、改善されましたが業務の偏りによる一部の人への負担も課題です。年休取得の推進と人員配置の適正化は両立すべき重要事項であるので、会社への適正な人員配置の要請をお願いいたします。

## ◆組織力のさらなる強化・発揮

- 鋼片支部では、対話や会議を通じて組合活動の意義や必要性を訴え、若年層にも親しみやすいイベントを通じて参加意欲の向上を図ってきました。組合活動の「難しそう」「大変そう」といった印象を払拭するためには、ニーズに沿った企画の立案と情報発信が重要です。執行部におかれましては、公式LINEやHPを活用した積極的な活動のアピールをお願いいたします。
- 第55期、青年女性対策部の８人中５人が新人であるため、今まで以上に執行部や各支部と連携を図り、人と人との繋がりを広げる活動を展開し、組織力のさらなる強化・発揮につなげてまいります。そのためにも、青女委員一人ひとりが責任と自覚を持ち、個々人のレベルアップにも努めてまいりますので、執行部におかれましては引き続きのサポートをよろしくお願いいたします。また、組合ニュースやHPは青女活動の魅力や理解を深める重要なツールなので、ホットボイス等を活用した情報発信への全面的な支援をお願いいたします。

### ◆産業政策・政策・制度、生活諸課題の改善

●我々の代表を国政の場に送り出す必要性については、第27回参議院議員選挙での「郡山りょう」氏の理解・浸透活動により、「私達の生活にどう影響するのか」再認識できたところであります。
引き続き、執行部におかれましては、政策実現への理解を深めるべく、研修会等の場を活用した活動報告や組合のHPや公式LINEによる動画の配信等、顔が見える活動を進めていただくようお願いいたします。

## 補強意見に対する執行部答弁（要旨）



久富書記長

### ◆安全で健康な職場環境の確立

軽処置災害の発生は、職場の安全文化の成熟度を測る重要な指標であり執行部としても重く受け止めております。これまで以上に、安全巡視の継続・強化と現場の声を反映し、安全意識・安全感度の向上に繋がる啓発活動を展開してまいります。

小径製管支部の現場主導による安全活動は、組合全体の模範であり大変心強く感じており、執行部としても、安全実態をより的確に把握し、支部と連携を強化することで災害ゼロ職場づくりを目指してまいります。また、声掛けやTBMのチェックなど、日常の積み重ねが安全文化の醸成に繋がると認識しており、ハラスメントやメンタル疾患への対応についても、早期発見・解決に向けた体制づくりを支部と連携して進めてまいります。そして、安全で安心して働ける職場環境の整備は、すべての組合員の基本的な権利であることから、今後も最優先課題として取り組んでまいります。

### ◆雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化

小径製管支部が主体的に組合員と対話を重ねられていることに感謝を申し上げます。執行部としても、雇用と生活の安心安定を守るため、職場労使委員会を通じた提言の受け止めと、人員措置や環境整備の進捗確認を継続してまいります。特に、若年層の組合員が増加する中、公式LINEなどのデジタルツールを活用した情報発信は、時代に即した有効な手段と認識しているため、今後も積極的に取り組んでまいります。また、年内に公表予定の次期中長期経営計画においても、組合員の生活の安定と安心して働ける環境の確保は最優先課題と位置づけており、各支部との連携を一層強化しながら、丁寧かつ粘り強い対応を継続してまいります。

### ◆魅力ある労働所条件の確立と総合的な生活の改善

物価上昇が続く中、生活基盤の安定は極めて重要であり、今後も金属産業トップ水準の維持・向上に向けて継続的に取り組んでまいります。また、鋼片工場での計画休止や年休取得の推進など、ワークライフバランスの実現に向けた、現場の工夫と努力には敬意を表します。育児・介護による長期休業時の欠補対応や人員配置の課題については、現場の不安の声として真摯に受け止め、執行部として制度設計と職場環境の整備を会社側に強く求めてまいります。

AP26においても、引き続き上部団体と連携し、処遇水準の維持・向上に向けて全力で取り組んでまいります。また、ワークライフバランスの改善に関しては一定の成果が見られる一方、業務の偏りによる負担増の課題も真摯に受け止めており「年休取得の推進と人員配置の適正化は、両立すべき重要な事項である」とのご指摘はまさにその通りであるので、会社側に対しても、持続可能な働き方の実現に向けた人員体制の整備を強く要請してまいります。

### ◆組織力のさらなる強化・発揮

楽しみながら参加できる行事を通じて、組合の存在を身近に感じてもらう取り組みは、組織力強化の好例であるため今後も積極的に展開してまいります。また「難しそう」「大変そう」といった印象を払拭するため、執行部としては、デジタルツールを活用し次世代を担う仲間づくりを進め、組織力のさらなる向上を目指してまいります。

青年女性部では、対策部に新人が増え、組織の新陳代謝が進み、今後の活動に新たな風が吹き込むことに期待をしております。執行部は、青年女性部との連携をさらに強化し、各支部と協力して「人とのつながり」を広げる取り組みを全面的に支援してまいります。また、青年女性部の魅力を伝え組合全体の活性化に繋げるために、各種媒体を最大限に活用し情報発信力の強化に努めてまいります。そして、青年女性部の若さと行動力を活かした活動は、組織力のさらなる強化に繋がることを確信しているため、青年女性部と力を合わせ、より良い組合活動の実現に向けて邁進してまいりますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

### ◆産業政策・政策・制度、生活諸課題の改善

郡山りょう氏の活動を通じて、政策が生活に直結することを再認識されたとの意見は、組合活動の本質を突くものと受け止めており、執行部としては、研修会報告やHP・公式LINE等を活用した動画配信などを通じて「顔の見える活動」を推進してまいります。また、若手組合員の参画促進に向けた支部の取り組みにも、全面的に支援を行ってまいります。

# 組合員投稿コーナー

投稿

ご安全に！

総務支部の
釘宮 航平です。

## テーマ「マイブーム」



私のマイブームはゴルフです。

始めたきっかけは、ゴルフコンペで、最初はあまり乗り気ではなかったのですが、気づいたらのめり込んでしまい、最近はYouTubeで常にゴルフの動画を見たりゴルフショップに足を運んだりとにかくゴルフファーストの日常を送っています。

写真は支部対抗ゴルフの時のもので、チームメンバーの力もあり見事総務部として優勝を勝ち取ることができました！（自分はあまり貢献できていませんが…）

私自身はまだまだゴルフの腕前は未熟ですが、今後ベストスコアの更新を目指し日々精進を重ねていきたいと思います。



## 清末議員相談窓口　11月スケジュール

清末議員相談窓口の、11月のスケジュールが決定しました。

11月19日(水)　17：00 ～ 18：00　組合会館

11月26日(水)　17：00 ～ 18：00　組合海南事務所

11月以降の日程につきましては、組合ニュースで改めて告知します

前号（15399）に記載している、P2の内容について一部誤りがありました。
心よりお詫び申し上げ訂正いたします。正しくは以下の通りとなります。
誤）上高屋　武さん　正）上髙家　武さん　　誤）和満会　正）和住満会